



## 平成21年9月期 第3四半期決算短信

平成21年8月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 梅の花

コード番号 7604 URL <http://www.umenohana.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梅野 重俊

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長兼海外事業部長 (氏名) 上村 正幸

TEL 0942-38-3440

四半期報告書提出予定日 平成21年8月14日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年9月期第3四半期の連結業績(平成20年10月1日～平成21年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年9月期第3四半期	21,699	—	310	—	48	—	147	—
20年9月期第3四半期	21,809	42.0	301	△71.6	35	△96.5	△701	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年9月期第3四半期	2,556.02	—
20年9月期第3四半期	△12,166.06	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年9月期第3四半期	19,322	3,669	18.9	63,362.92
20年9月期	19,414	3,524	18.1	60,825.56

(参考) 自己資本 21年9月期第3四半期 3,656百万円 20年9月期 3,509百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年9月期	—	—	—	—	—
21年9月期	—	—	—	—	—
21年9月期 (予想)				500.00	500.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年9月期の連結業績予想(平成20年10月1日～平成21年9月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,035	△1.7	396	696.6	175	—	188	—	3,272.37

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 一社 (社名 ) 除外 一社 (社名 )
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
(注)詳細は4ページ「定性的情報・財務諸表等 4. その他」をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)  
① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
② ①以外の変更 無  
(注)詳細は4ページ「定性的情報・財務諸表等 4. その他」をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- |                      |             |         |             |         |
|----------------------|-------------|---------|-------------|---------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  | 21年9月期第3四半期 | 57,700株 | 20年9月期      | 57,700株 |
| ② 期末自己株式数            | 21年9月期第3四半期 | 一株      | 20年9月期      | 一株      |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 21年9月期第3四半期 | 57,700株 | 20年9月期第3四半期 | 57,700株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点における将来の見通し、計画のもととなる前提、予測を含んでおります。  
実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項については、4ページ「定性的情報・財務諸表等 3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。  
(四半期連結財務諸表)  
当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、世界的な金融危機の深刻化や、世界景気の一層の下振れ懸念が存在する中で、個人消費は先行きに対する不透明感により低迷し、雇用情勢は急速に悪化しています。さらに、一向に回復しない日本経済に麻生内閣の支持率が落ち込み、依然として外食産業に厳しい状況であります。

このような状況のもと、当社グループは、今期を「第二創業期」と位置づけ、世の中のニーズに応え、お客様に満足を提供することを心がけました。

平成20年10月より、磁気カード式のポイントカード制度を導入いたしました。これにより、お客様のご来店履歴を蓄積し、ご予約時に、顧客C T I (Computer Telephony Integration) システムによりお客様情報を共有することで、お1人お1人に応じたよりきめ細かいサービスが可能となりました。

また、広告販促手段を絞り込み、雑誌への掲載や新聞折り込みからテレビコマーシャルに重点を置き、お客様のご利用シーンをイメージとして発信し、気軽にご来店いただけるお店をアピールいたしました。

販売強化策として、2月の節分は「恵方寿司」、3月は雛祭りにちなんだ「ちらし寿司」、4月の花見イベント、5月の母の日弁当、6月にはうなぎ弁当のほか、ちまき、新茶麩まんじゅうといった季節を感じられるテイクアウト品の販売にグループ全体で取り組みました。

コスト面では、広告販促費や修繕費などの圧縮、テレビ会議システムの導入による出張費用の抑制など、削減に努めました。

また、為替相場の変動によりデリバティブ評価損1億24百万円を計上いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高216億99百万円（前年同期比0.5%減）、営業利益3億10百万円（前年同期比2.7%増）、経常利益48百万円（前年同期比36.4%増）、四半期純利益1億47百万円（前年同期は四半期純損失7億1百万円）となりました。

なお、前年同期比増減数、前年同期比増減率は、参考として記載しております。また、事業別セグメントの状況は次のとおりであります。

（外食事業）

出店及び閉店につきまして梅の花は、12月に「川越店（埼玉県）」、3月に「郡山店（福島県）」、4月に「静岡店（静岡県）」を出店、1月に「横手店（秋田県）」を長期休業、2月に「晴海店（東京都）」を閉店し、67店舗（F. C. 店1店舗含む）となりました。チャイナ梅の花は4店舗、かにしげは3店舗、その他は2店舗で、外食事業の全店舗数は76店舗、売上高は135億25百万円（前年同期比1.9%減）、営業利益11億33百万円（前年同期比4.5%増）となりました。

（テイクアウト事業）

出店及び閉店につきまして寿司テイクアウト店は、8店舗出店、7店舗退店し、131店舗となりました。梅の花テイクアウト店は、1店舗出店、2店舗を古市庵店舗に統合し、2店舗を閉店し、16店舗となりました。また、その他店舗は、閉店5店舗となりました。

従いまして、テイクアウト事業の全店舗数は152店舗、売上高は81億74百万円（前年同期比1.9%増）、営業損失1億40百万円（前年同期は営業損失29百万円）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

（1）連結財務状態の変動状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末と比べ92百万円減少し、193億22百万円となりました。これは主に店舗閉鎖等による敷金及び保証金の減少1億15百万円によるものであります。

負債の部につきましては、前連結会計年度末と比べ2億37百万円減少し、156億53百万円となりました。これは主に未払金が2億60百万円減少したことによるものであります。

純資産の部につきましては、前連結会計年度末と比べ1億45百万円増加し、36億69百万円となりました。これは四半期純利益1億47百万円の計上によるものであります。

（2）キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して、2億67百万円増加し、9億67百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は13億78百万円となりました。

これは主に税金等調整前四半期純利益36百万円の計上、非資金的費用である減価償却費9億8百万円及びのれんの償却費86百万円の計上によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は11億9百万円となりました。

これは主に定期預金の払戻による収入1億20百万円、新規出店に伴う有形固定資産の取得による支出13億70百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は1百万円となりました。

これは主に金融機関からの借入の純増額27百万円、割賦債務の返済による支出26百万円によるものであります。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績は、売上高、営業利益及び経常利益につきましては、概ね当初予想通りに推移しておりますが、繰延税金資産が増加し、純利益が当初計画を大きく上回る見込みであります。平成21年5月7日「平成21年9月期第2四半期及び通期業績予想の修正について」において発表しておりますのでご参照ください。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想と異なる場合があります。

### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

適用した簡便な会計処理につきましては、重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②従来、商品、加工品及び原材料については、移動平均法による原価法、貯蔵品については、先入先出法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、商品、加工品及び原材料については、移動平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切り下げの方法）、貯蔵品については、先入先出法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切り下げの方法）に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の損益及びセグメント情報に与える影響は軽微であります。

③所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号（平成5年6月17日（企業会計審議会第一部会）、平成19年3月30日改正））及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号（平成6年1月18日（日本公認会計士協会 会計制度委員会）、平成19年3月30日改正））が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、第3四半期連結会計期間から新たな取引が発生したことにより早期適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。

また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の損益及びセグメント情報に与える影響はありません。

なお、リース取引開始日が適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き適用しております。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,274,047	1,125,455
売掛金	1,100,510	1,114,358
商品	9,071	12,013
製品	58,633	56,542
原材料	91,645	101,183
貯蔵品	56,693	61,229
繰延税金資産	146,842	205,094
その他	505,126	919,302
貸倒引当金	△2,058	△4,158
流動資産合計	3,240,511	3,591,021
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,988,526	6,721,654
機械装置及び運搬具（純額）	218,295	166,493
土地	4,595,857	4,595,270
建設仮勘定	66,827	215,943
その他（純額）	783,376	652,701
有形固定資産合計	12,652,883	12,352,063
無形固定資産		
のれん	953,345	1,039,894
その他	75,217	67,021
無形固定資産合計	1,028,562	1,106,916
投資その他の資産		
投資有価証券	85,544	86,808
長期貸付金	68,526	69,240
繰延税金資産	383,095	202,737
敷金及び保証金	1,747,521	1,863,187
その他	216,249	225,118
貸倒引当金	△100,135	△82,236
投資その他の資産合計	2,400,801	2,364,856
固定資産合計	16,082,247	15,823,836
資産合計	19,322,758	19,414,857

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	555,542	657,730
短期借入金	5,306,360	4,582,736
1年内返済予定の長期借入金	2,447,706	2,969,166
未払金	1,085,437	1,346,262
未払法人税等	27,341	34,959
賞与引当金	95,700	168,612
店舗閉鎖損失引当金	25,656	100,888
ポイント引当金	53,225	—
その他	555,022	460,480
流動負債合計	10,151,992	10,320,836
固定負債		
長期借入金	4,866,607	5,041,754
退職給付引当金	90,565	94,517
デリバティブ債務	482,081	391,934
その他	62,235	41,634
固定負債合計	5,501,489	5,569,841
負債合計	15,653,481	15,890,677
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,434,334	2,434,334
資本剰余金	1,811,323	2,515,667
利益剰余金	△575,262	△1,427,089
株主資本合計	3,670,395	3,522,912
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△9,338	△8,261
為替換算調整勘定	△5,016	△5,016
評価・換算差額等合計	△14,354	△13,277
新株予約権	13,235	14,545
純資産合計	3,669,276	3,524,179
負債純資産合計	19,322,758	19,414,857

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成21年6月30日)
売上高	21,699,350
売上原価	6,698,620
売上総利益	15,000,729
販売費及び一般管理費	14,690,599
営業利益	310,130
営業外収益	
受取利息	11,988
受取配当金	1,520
受取保険料	1,225
受取手数料	16,703
雑収入	32,837
営業外収益合計	64,274
営業外費用	
支払利息	146,216
デリバティブ評価損	124,825
雑損失	54,872
営業外費用合計	325,914
経常利益	48,490
特別利益	
固定資産売却益	3,377
貸倒引当金戻入額	1,930
店舗閉鎖損失引当金戻入額	10,669
新株予約権戻入益	1,309
特別利益合計	17,287
特別損失	
固定資産除売却損	24,943
投資有価証券評価損	1,604
その他	3,202
特別損失合計	29,750
税金等調整前四半期純利益	36,028
法人税、住民税及び事業税	10,834
法人税等調整額	△122,289
法人税等合計	△111,454
四半期純利益	147,482

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間  
 (自 平成20年10月1日  
 至 平成21年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	36,028
減価償却費	908,111
減損損失	417
のれん償却額	86,667
賞与引当金の増減額(△は減少)	△72,912
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	△75,232
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△3,952
貸倒引当金の増減額(△は減少)	15,799
ポイント引当金の増減額(△は減少)	53,225
受取利息及び受取配当金	△13,508
支払利息	146,216
固定資産除売却損益(△は益)	21,565
投資有価証券評価損益(△は益)	1,604
デリバティブ評価損益(△は益)	124,825
売上債権の増減額(△は増加)	13,848
たな卸資産の増減額(△は増加)	14,924
仕入債務の増減額(△は減少)	△102,188
その他	129,294
小計	1,284,736
利息及び配当金の受取額	11,142
利息の支払額	△146,343
法人税等の支払額	△41,331
法人税等の還付額	145,119
退店補償金の収入	125,000
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,378,323
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△933
定期預金の払戻による収入	120,067
有形固定資産の取得による支出	△1,370,456
有形固定資産の売却による収入	49,975
無形固定資産の取得による支出	△20,858
固定資産の除却による支出	△7,525
投資有価証券の取得による支出	△1,530
貸付けによる支出	△5,078
貸付金の回収による収入	3,902
敷金及び保証金の回収による収入	164,439
敷金及び保証金の差入による支出	△36,404
その他	△5,002
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,109,406



(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間  
(自 平成20年10月1日  
至 平成21年6月30日)

財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	723,624
長期借入れによる収入	1,640,000
長期借入金の返済による支出	△2,336,607
リース債務の返済による支出	△1,331
割賦債務の返済による支出	△26,238
配当金の支払額	△637
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,191
現金及び現金同等物に係る換算差額	
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	267,725
現金及び現金同等物の期首残高	699,312
現金及び現金同等物の四半期末残高	967,037

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間(自平成20年10月1日至平成21年6月30日)

	外食事業 (千円)	テイクアウト 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	13,525,194	8,174,156	21,699,350	—	21,699,350
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	3,535,709	101,862	3,637,572	(3,637,572)	—
計	17,060,903	8,276,018	25,336,922	(3,637,572)	21,699,350
営業利益又は営業損失(△)	1,133,008	△140,827	992,181	△682,050	310,130

(注) 1 事業区分の方法

事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分に属する主要な事業の内容

(1) 外食事業・・・湯葉と豆腐懐石料理等の飲食店経営及びその付帯事業

(2) テイクアウト事業・・・とうふしゅうまい、湯葉揚げ、寿司等の持ち帰り専門店経営

[所在地別セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間(自平成20年10月1日至平成21年6月30日)

全セグメントの売上高の合計及び全セグメントの資産の金額の合計額に占める「日本」の割合がいずれも90%超のため、記載を省略しております。

[海外売上高]

当第3四半期連結累計期間(自平成20年10月1日至平成21年6月30日)

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成20年12月1日開催の取締役会において、資本準備金及び利益準備金の額の減少並びに剰余金の処分について決議し、平成20年12月30日開催の第29回定時株主総会にて承認可決されました。

会社法第448条第1項の規定に基づき、資本準備金704,344千円をその他資本剰余金に、利益準備金37,479千円を繰越利益剰余金に振り替えております。

また、会社法第452条の規定に基づき、別途積立金370,000千円及びその他資本剰余金704,344千円を繰越利益剰余金に振り替え、欠損填補しております。

この結果、繰越利益剰余金が1,074,344千円増加いたしました。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年9月期 第3四半期)
	金額(千円)
I 売上高	21,809,863
II 売上原価	6,894,276
売上総利益	14,915,587
III 販売費及び一般管理費	14,613,754
営業利益	301,832
IV 営業外収益	90,607
1. 受取利息及び受取配当金	19,829
2. その他	70,778
V 営業外費用	356,880
1. 支払利息	156,967
2. デリバティブ損失	110,776
3. 雑損失	89,137
経常利益	35,559
VI 特別利益	7,549
1. 投資有価証券売却益	146
2. 閉店損失引当金戻入	7,403
VII 特別損失	473,936
1. 固定資産除売却損	20,470
2. 投資有価証券売却損	4,662
3. 減損損失	350,470
4. 閉店損失引当金繰入額	59,801
5. その他	38,531
税金等調整前四半期純損失(△)	△430,826
法人税等	271,155
四半期純損失(△)	△701,981

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第3四半期連結累計期間(自平成19年10月1日至平成20年6月30日)

前年同四半期は連結キャッシュ・フロー計算書を作成していないため、記載しておりません。

(3) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成19年10月1日至平成20年6月30日)

前年同四半期は事業の種類別セグメント情報を作成していないため、記載しておりません。

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成19年10月1日至平成20年6月30日)

全セグメントの売上高の合計及び全セグメントの資産の金額の合計額に占める「日本」の割合がいずれも90%超であるため、記載を省略しております。

[海外売上高]

前第3四半期連結累計期間(自平成19年10月1日至平成20年6月30日)

該当事項はありません。

6. その他の情報

該当事項はありません。